

## はままつ シャツ コレクション



遠州織物を使ったシャツを創作する「はままつシャツ部」から、この夏の新作をご紹介します。作り手のオリジナリティを感じられる、多彩なラインナップが魅力。

### 首元をすっきり見せる 軽やかなリネンシャツ

やわらかな風合いと肌触りの良さが魅力のリネンシャツは、何枚持っても重宝する夏の優秀アイテム。

リネンシャツ 12,960円(Ta\*takaka)



### やさしい印象の ピンタック織ブラウス

ラグランスリーブで楽な着心地。パンツでもスカートでもあわせやすい短めの丈で、コーディネート幅が広がる！羽織りとしても活躍。

ランダムピンタックブラウス  
17,280円(Okimaki)



### 1枚でサマになる ゆかた生地の男前シャツ

ゆかた生地の綿麻しじら織りのため、通気性・肌触りは抜群。軽くて爽やかな着心地で、素材の良さを体感できる1枚。

白織(はくせん) 7,500円(白井商事株式会社)



### 主演級の縞柄シャツを あそび心で大胆に着こなして！

遠州綿糸の特徴である縞柄が映えるシャツ。羽織ると前肩の部分に立体的な影が浮か上がる、あそび心を忍ばせている。シーズンとの相性は抜群！

JAPAN STRIPE! 16,200円(DM. Sae)



### ドット柄の織り模様が アクセント

透け感のある素材で夏にぴったりな1枚。あわせるインナーで雰囲気を変えて。立体感のあるドット柄でかわいらしさも演出。

コットンシャツ 参考商品(Ta\*takaka)

## PICK UP 浜松を「シャツのまち」へ はままつシャツ部



販売は主にイベントや展示会で行っている。現在、作家は5人。ブランドごとに趣向が異なり、多彩なバリエーションのシャツが並ぶ。「技術を高め合えるし、販売する場もある。作り手にはベストな環境です。作家は随時募集していますよ。」と、部長の水野さえ子さん(右から3人目)。

【はままつシャツ部】  
はままつシャツ事務局(ハッピー工房内) ☎053-431-1511  
<http://www.hama-shirts.jp/>



地元の産業コラが企画として、音楽分野とタグを組むことも。2015年には、地元のミュージシャンに衣裳を提供した。

シャツを通して、遠州織物の魅力を発信している「はままつシャツ部」。シャツの製造・販売だけでなく、織物の現場を巡るツアー、ファッションショー、ワークショップなど、幅広い活動を行っている団体だ。発足のきっかけは、遠州織物の認知度の低さを知ったことだった。「世界に通用する生地が作られているのにもっていない。もっと生かしていきたい」という想いを持つ地元の作家や有志が集い、2012年に結成された。現在の部員は作家や問屋、主婦など、年齢も職業も異なる11人。個々が持つ知識や技術を結集し、シャツ作りや活動の展開を意見し合っている。

まずは、はままつシャツに触れて、着て、遠州織物の魅力を実感してみたい。この夏、はままつシャツに会いに出かけてみてはいかがだろうか。

# 上質な白シャツで 涼感スタイルを極める

肌に通気性な白シャツで究極のベーシックスタイルに

一見どこにもあるような真っ白いシャツ。それを、ごくごく自然に、あくまでさりげなく着こなせる人がいる。ありきたりな空間にすんなり馴染んでいるけれど、

でも、どこか不思議な存在感が発揮されているような。私もそんな風にシャツを着こなしてみたくて、この夏、お気に入りの1枚を探しに出かけた。

「私らしい白シャツって一体どんなシャツだろう?」それは意外とあつけない、

私のすぐそばに存在していた。上質な素材感と柔らかな肌触り:

「遠州織物」と表記されたそのシャツに、私は瞬く間に惚れ込んでいた。

日常と調和する、まさに求めていた1枚。まるで宝物を発見した子どものように、

無邪気な喜びを与えてくれる。

白いシャツにこれほどまでの力があるとは思ってもよらなかった。



いとへの街 浜松  
シャツ  
【遠州織物】



リネン素材をわずかに含んだコットン生地。細い糸を高密度で織っているため、しっかり感がありながら軽い着心地に。HUISのシャツは市内のカフェや雑貨店のほか、オンラインショップでも購入可。  
左/コットンリネンシャツ 13,824円(HUIS)  
右/Aライン コットンリネンシャツブラウス 14,904円(HUIS)

## 現代の織姫

古橋織布(oriya) オリヤ  
左/濱田さん 右/西井さん



2015年に自社ブランド「oriya」を立ち上げた、古橋織布の社員・濱田さんと西井さん。地元の人に遠州織物を知ってもらおうと、日常で使いやすいトートバッグから展開をはじめた。生地デザインは、東京の服飾専門学校を卒業した濱田さんが担当。若い女性の視点で、織屋発の製品を発信している。

古橋織布(oriya)  
<http://furuhashi-weaving.jp/oriya>

Company Data 古橋織布株式会社

1928年創業、シャトル織機と伝統的な技法にこだわり、素材の味わいが生きたオリジナルの生地を開発・製造。国内のアパレルメーカーだけでなく、ヨーロッパの有名ブランドの生地も手がける。遠州を代表する機屋として注目を集めている。

浜松市西区雄踏町山崎3574 ☎053-592-1249  
<http://furuhashi-weaving.jp/>

〈oriya〉ちよっとそこまでバック 4,860円  
ボタニカルダイという、野菜や果物の色素で染めた糸を使用し、ふっくらと織り上げたバッグ。老舗の機屋「古橋織布」のオリジナルブランド。



白シャツと一緒に!  
遠州織物の小物



〈HUIS〉ボタニカル・ストール 11,340円  
サクラの花びらとクチナシの実で染めた、テセルとコットン素材のストール。大判だけど薄くて軽いので、夏でも使いやすい。

## 現代の織姫 HUIS ハウス 松下あゆみさん

浜松が織物の街だということを知り、家族で着られる上質なシャツを作ってみようと思ったのが、アパレルブランド「HUIS」立ち上げのきっかけ。「古橋織布」の布を使い、シャツやワンピース、ジャケット、コートなど、日々の暮らしに馴染む、上質な日常着を製作している。家族で着られるようにキッズサイズの白シャツも展開。

HUIS(ハウス) <http://1-huis.com/>

